

歴史探訪！

信長&芭蕉の世界

「堅田」を歩く



堅田という街が持つ意味

堅田に対する信長の戦略を

「信長が見た近江～信長公記を歩く～」の著者

大沼芳幸氏に解説していただきます！

開催日時

6月3日土曜日

10:30～16:00 予定 全1回

10:30 JR 湖西線堅田駅集合

11:00 居初氏庭園(拝観料 500 円)

12:30 「魚清楼」にて昼食(昼食代 3,500 円)

13:30 浮御堂(拝観料 500 円)

14:15 本福寺・伊豆神社・祥瑞寺・巖島神社・堅田漁港

16:00 堅田漁港前解散(予定)

老舗料亭「魚清楼」で、芭蕉の俳句に登場する食材をアレンジした特別料理を味わって頂きます。



集合場所：午前 10 時 30 分 JR 湖西線 堅田駅 ※雨天決行
(改札口出て左の観光案内所の前です)

講師：公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 大沼 芳幸 氏

受講料：500円 (当日徴収。つり銭のないようご協力ください。)

※別途 4,500 円が必要になります。

(内訳：昼食代 3,500 円・居初氏庭園 500 円・浮御堂 500 円)

定員：先着順 20 名 ※ご自身の体力を考えお申し込みください。

持ち物：歩きやすい靴・雨具・飲み物 (天候や体調により、各自ご準備ください)

申込期間：5月10日(水) AM8:40～5月26日(金)

申込方法：電話・FAX・窓口・互助会ホームページ (詳細は裏面へ)

講師紹介

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会
普及専門員 大沼 芳幸 氏

元亀元年～元亀4年までの間、信長は長く苦しい近江衆徒の戦いを強いられます。中でも堅田は、琵琶湖水運を重視する信長が絶対手に入れなければならない街でした。今回は、信長の足跡を辿りながら、堅田という街が持つ意味、そして堅田に対する信長の戦略を「信長が見た近江～信長公記を歩く～」の著者、大沼芳幸氏に解説していただきます！そして、俳聖「松尾芭蕉」が愛し、多くの俳句を詠んだ聖地である堅田の世界も楽しみましょう！

申込方法

5月10日（水）AM8：40～5月26日（金）までに電話（077-522-7474または077-525-1105）、FAX（077-523-3494）【講座名、氏名、電話番号、FAX番号を記入】または大津市勤労者互助会ホームページ（info@otsu-gojokai.jp）の講座申込フォームよりお申し込みください。

受講料は講座当日の6月3日（土）に徴収させていただきます。

FAX、ホームページからのお申し込みについては、申し込み後3日（土日祝祭日を除く）以内にそれぞれFAX、メールにて「受付完了」の連絡をいたします。

事務局からの返信がない場合（ホームページの場合は自動返信メールとは別途）は、受付が完了しておりませんので、お手数ですが事務局までご連絡ください。

※お申し込みが少数の場合は中止することがあります。

※当日午前7時の段階で大津市域に天候に関する警報が発令されている場合は中止します。

※受講中における万一の傷害につきましては、応急処置は行いますが、以後の責は傷害保険によるものとします。

※やむを得ずキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。（受講料をいただく場合があります）

問合せ先

大津市勤労福祉センター

場 所：大津市打出浜1-6

T E L：077-522-7474

または077-525-1105

F A X：077-523-3494

開館時間

月～土曜 午前9時～午後9時まで

日 曜 日 午前9時～午後5時まで

休館日

毎月第3日曜日、祝祭日

集合場所地図

JR湖西線 堅田駅 構内図

